

朝来市公共交通ワークショップ意見等集計表

		山東会場 (12/2)		朝来会場 (12/3)		和田山会場 (12/16)		生野会場 (12/17)	
参加者数		36人		18人		19人		19人	
年代		20歳代:6、40歳代:3、50歳代:1、60歳代以上:22、無回答:4		20歳代:1、40歳代:2、50歳代:2、60歳代:12、未回答:1		20歳代:1、30歳代:1、40歳代:2、60歳代以上:11、無回答:4		19歳以下:4、30歳代:1、40歳代:3、50歳代:1、60歳代以上:10	
性別		男性:30、女性:3、無回答:3		男性:16、女性:0、無回答:2		男性:11、女性:4、無回答:4		男性:15、女性:4	
ジャンル		課題点・問題点		課題点・問題点		課題点・問題点		課題点・問題点	
		解決に向けたアイデア		解決に向けたアイデア		解決に向けたアイデア		解決に向けたアイデア	
バス	便数	土日にバスがなく、時間が限定される	<ul style="list-style-type: none"> ・アコバス・路線バスの時刻調整 ・通勤に使えるような時刻設定 ・就業時間を柔軟に設定する/通勤手当の支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業時間より早く到着してしまい、時間が合わない ・限られた曜日しか運行していない ・目的地が近い為、使わなくてよい ・本数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレックスタイム制の導入 ・あこかで天空バスに乗車 (あこか+500円) 	通勤の時間に合っていない (出発時間が早い)	夜間の公共交通がない		
		予約制は制限があり、通勤に不向きである					運行する曜日が限られている		行きはいいが、帰宅する便がない
	バスは始業時間に間に合わず、夜の移動も不可				アコバスの利用者が減っている	なぜ減っているのかの分析が必要	通勤に適した便がない (始発が遅い)	勤務開始時間を遅らせる	
	途中の場所に立ち寄りたいときに時間が合わない						車とJRの組み合わせが不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に無料駐車場、サイクルレインの実施 ・パークアンドレールの実施 	
	ル時 間ト・	バスルートが遠回りして時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの導入 ・特急・急行の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りに同じルートで帰ることができない ・乗車時間が長い ・バス停に乗り入れていない路線がある ・枝線に住んでる場合に通勤に利用できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通の導入 ・アコバスにかかる費用をデマンド交通に充ててはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物だけで半日~1日かかってしまう ・目的地までの移動手段がない ・乗車時間が長い 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型タクシー、タクシーチケット配布 ・病院でマイ時刻表を作成する ・時間の活用法がわかればよい ・夜の時間にバスを増やしてほしい 	待ち時間が長いことがある	ダイヤに合わせる (学校の授業等)
		待ち時間が長い							
設備・	車両・	車両が狭く、乗りにくい				<ul style="list-style-type: none"> ●●行きではなく番号にすればよいのでは 	バス停ベンチ位置が運転士からわかりにくい	置き方の工夫、バス停をもっと細目に	
		バス停に屋根がない上に少し遠い	地域づくり支援事業を活用したバス停整備	駅前にスーパー・カフェがない	無料で待ち時間を過ごせる場所 (イオンなど)	待合所にベンチがない	高齢者がよく利用する場所に設置		
		止まってほしい箇所のバス停がない							
共通	バス・接	目的地までの公共交通がない	<ul style="list-style-type: none"> ・バスだけに絞る (鉄道を廃止) ・バス停の絞り込み・精査 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者はバス停まで行けない ・乗り換えで待ち時間が生じる ・乗り継ぎがわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアtoドアの交通制度 ・駅に待合スペースを作る (自治協ふれあい広場など) ・地域別に分けた時刻表を作成する 	バス停まで歩けない人が多い		乗り継ぎが悪い、待ち時間が長い	Wi-Fi、コミュニケーションスペースを整備
		和田山駅・寺前駅又は鉄道⇄バスの接続が悪い						複数の乗り継ぎが難しい	
	荷物	急に買い物が必要になった時に公共交通は難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物代行サービス・ニーズに合わせた運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ買いをすると荷物が重い ・荷物が多く利用しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物のレンタル ・人と荷物を分けて運ぶ 	経由地が多く、子育て・介護に不向き			
		帰りは荷物が多く、歩くのが大変						待合場所が寒い、椅子がない	地域づくり支援事業でバス停を整備
JR	設備環境	和田山駅に駐車場がなく、市役所の駐車場は料金が高い		駅の駐車場代が負担に感じる		エレベーターがない	弱者に寄り添ったサービス	高齢者は跨線橋を渡るのが大変	
		和田山駅の駅員が不在となる時間がある		特急が全車指定席になっている	周知を徹底する	駐車場がない	ノーマイカーデーを作る	駐車場がない、生野駅西口のWi-Fiを東口にも	
その他		JRが動物と接触することがある		朝来市の中心が和田山中心になりすぎている				公共交通で行ける場所にワクチン会場がない	
		観光需要が少ない						使ったことがないということが障壁である	<ul style="list-style-type: none"> ・一般、学生向けあこかの設定 ・あこかの年齢制限の撤廃
		免許証を返納した場合にメリットがわからない						バスに乗り慣れない	マイ時刻表を作成する
		帰りの便の人が多く乗車できない	増便の手配 (同じ時刻に2台)	時刻表の見方がわかりにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・マイ時刻表の作成 ・よく利用されている方に教えてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ①人口は減少するが、後期高齢者は減らない ②経路図 (あさごナビ) が見にくい ③路線バスとアコバスが同じところを走っていない ④移住者が公共交通を不便と思いつている 	<ul style="list-style-type: none"> ①マクロではなくミクロ視点 (生活視点) で考える ①市民全員ではなく、公共交通を使い、かつ自家用車が使えない人のことを考える ①今の公共交通に要する費用をどう再分配するか ②路線ごとに地図があればよい ③スクール福祉バス・天空バスの活用 ④あさごナビ、アプリの使い方教室 ⑤AIを活用する 	運賃の払い方がわからない	交通系ICカードでの支払い
		デマンドは予約が大変で予定が組みにくい				<ul style="list-style-type: none"> ④公共交通を知らない人が多い ⑤時刻を調べるのが手間である 		観光客向けの周遊券がない	レンタサイクル等を設定する
		利用者に時間を合わせてほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に時刻を調べてもらう/あさごナビの使い方周知 	時間を常に気にしないといけない	時間の有効な使い方、自分の計画を持つ			公共交通を利用する意識がない	地域行事 (多世代) ・観光目的で利用する
利用促進策		観光客・地域内のイベント企画/市外の利用にも目を向ける		観光で利用者を増やす		生活交通を意識して考える		トロッコ道で無人モノレールの運行	
		観光資源を活用した公共交通機関利用イベントの企画		一般向けフリーバス券 (一般向けあこか) の設定		「こういう場合に利用すると便利」というケースを例示する		ゲーム要素を取り入れたワークショップを開催する	
		土日に外食する人に対して交通機関の設定		積雪時の利用		兵庫、関西城めぐりバスの運行		子供でも楽しめるよう親子で乗車体験会を実施する	
		時刻表を調べる癖をつける/検索アプリを使えるようにする		市から地域への補助		「買い物の日」を作って地区でキャンペーン (買い物ツアー) をする		支援が必要な人へのサービス (一時的なタクシー補助) 支援等	
		乗車体験会 (地域内で実施) を開催する【老人会・自治協など】		まずは乗ってもらう		公共交通の使い方を知らない人を減らす		JR播但線を日常的に使う人への補助	
		多世代で乗車して楽しいバスにする		もっと子育て世代に乗ってもらうようにする (将来、その子供も乗ってもらえるようになる)		ワークショップを続けてほしい		ガンリソ代とJR運賃を比較して差額分を補助	
		ノーマイカーデーを作る				自家用車の維持費、公共交通利用には体力が必要→知識を学ぶ		支払方法でキャッシュレス決済 (PayPay、クレジットカードなど) の導入	
		まずは利用してみる				老人会などでみんなで乗る雰囲気作りをする			
						飲み会ときは公共交通を利用する			
						フレイル予防に地域のイベントで公共交通を利用する			
						あこかのお得さをもっとPRする			
				上手に利用している人のプロモーション動画を作成する					
				親子で乗れる休日バスの運行					

※斜線については、解決に向けたアイデアが特になかったもの。